



ぎょうにんづか  
行人塚の大ケヤキ

県道月潟西川線の脇に立つ、推定樹齢500年の大ケヤキ。昔から御神木として崇められてきました。行人塚の名は、かつて当地に流行した悪疫退散のために、行人（仏教の修行者）が自ら生き埋めになり、村人を救ったという故事によるものです。



長徳寺山門

欄間のすかし彫りや梁下の獅子頭などの彫刻が見事な、堂々とした二層の山門。鐘樓を兼ねていて、2階に大鐘が吊るされています。天保9年（1838）建立の棟札が残り、その時代の寺院建築の特徴であるきらびやかな色彩が今も残ります。



稲文字

田んぼに稲文字を描く「田んぼアート」は、大曾根自治会で行われているもの。50aの水田を利用し、稲が育つごとに見事な文字が田んぼに浮かび上がります。田植え作業には、100人を超える地元住民が参加しています。



かもん!カモねぎまつり

カモ猟が盛んな潟東地区で、毎年12月に行われるイベントです。アツアツのカモ汁が味わえ、カモ猟の寸劇や農産物販売などが行われます。



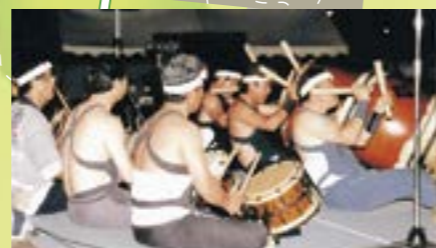
潟東西公園  
小高い山のコンビネーション遊具、25mのローラー滑り台が人気です。



潟東サルビアサッカー場  
人工芝のサッカーコートです。



潟東南公園  
桜が美しく、樹木のやすらぎを感じます。20mのローラー滑り台が人気です。



潟東太鼓

毎年8月に行われる「潟東おまつり広場」を盛り上げようと、昭和58年（1983）に青年有志によって潟東太鼓「希龍会」が結成されました。潟東地区はもちろん、県内や県外のイベントにも出演。平成4年にはスペインでの公演も成功させています。

## どろんこカップ

毎年、8月16日に開催される「潟東おまつり広場」。その中でも人気なのが、田んぼの中で行われる「どろんこカップ」です。どろんこバレーボール、どろんこフラッグなど、文字通り泥だらけになって楽しむ、ユニークさが魅力。



潟東樋口記念美術館

潟東地区出身の実業家、樋口顕嗣氏から寄贈いただいた絵画、彫塑品、陶芸品、漆芸品、貴金属類を収蔵・公開するため、昭和45年（1970）に開館しました。400点を超える美術品の中には有名な作者の作品もあり、来館者の目を楽しませてくれます。



潟東ゆう学館

生涯学習と高齢者福祉の拠点施設。教育ゾーンを中心は、2万7000冊の蔵書を備えた図書館。福祉ゾーンは老人いこいの家と、デイホーム機能を備えています。誰でも利用できる大浴場があり、角田山と多宝山、弥彦山を眺めながらお風呂を楽しめます。



潟東歴史民俗資料館

1階は潟東地区出身の先人、大谷大学学長・山辺習学、良寛画家・こしの千涯、大徳寺管長・福富雪底、漫画家・赤塚不二夫らの偉業を紹介するコーナー。2階には、銚子コーナーや民俗資料が展示されています。

# 水と土と緑

にしかん探訪

その昔、西蒲区を中心にあつた「銚子」。潟の東で発展してきた潟東地区は、豊かな田園風景の中に先人の歩みを残しています。

かたひがし地区

